

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			体を動かすスペースや、学習を行うスペースなど用途によって使い分けている。見学をしていないので適切であるか分からないという意見があったので、見学の希望があれば日程の調整を行いたい。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			強度行動障がいのある児童の受け入れが増え、対応が難しくなっているため4月から職員増を考えている。見学をしていないので適切であるか分からないという意見があったので見学の希望があれば日程の調整を行いたい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			事業所の移転に伴って、バリアフリーに配慮した環境を作ることが出来た。改善できた点として、エレベーターが使用可能になったこと、段差が無くなり部屋が広くなったので車いすを利用した活動が可能になったこと、トイレが身体障がい者用の広く手すりがついた機能的なものになったこと等が挙げられる。また、見学をしていないので適切であるか分からないという意見があったので、見学の希望があれば日程の調整を行いたい。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			月に一回のケアマネジメント会議を行い、支援の振り返りや利用児童の目標設定の確認や見直しを行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			去年度は事業所からの情報発信が弱いという指摘があったので、今年度からは会報として『BASIC通信』を発行することとした。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			自己評価とアンケートの集計結果は、社会福祉法人すずめ福祉会のホームページ上で公開している。周知の為に、BASIC通信にURLを掲載する。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者委員会にて年に一度評価を行っているが、評価結果を業務改善に繋げる取り組みにまでは至っていない。次年度以降は、有効活用出来るようにしていきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			令和4年度は、虐待防止研修、身体拘束防止抑制研修、権利擁護研修、職員の技能向上に関する研修、発達障がい研修、個人情報の取り扱いに関する研修、感染症予防研修等を行った。
適切 な	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか			○	アセスメントの充実を目指して、実施内容の見直しを検討している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	使用していない。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			担当職員同士の話し合いで立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			課題、運動、工作、事業所外活動、余暇活動等のプログラムを組み合わせで行っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			休日や長期休暇には、平日に出来ない社会見学や外遊びの時間を設けている。

支援の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		支援開始前に申し送りや打ち合わせの時間を設けている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○	児童の送迎に時間がかかり、十分な時間行えているとは言い難い。申し送りや支援内容の共有については翌日の申し送りの場で行うことが多い。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		活動報告書を作成し、チームで児童について理解できるようにしている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○		課題、運動、工作、事業所外活動、余暇活動等のプログラムを組み合わせで行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		主に児童発達管理責任者がサービス担当者会議に参加している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	医療的ケアが必要であったり、重症心身障がいのある子ども等を支援していないので、どちらとも言えない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		保育所や幼稚園に見学に行ったり、情報提供書を頂いたりすることで、情報共有を行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する例がないのでまだどちらとも言えない。移行の際には、情報提供書をお渡しする用意は行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	コロナ禍であったこともあり、十分な助言を頂く機会や研修の機会は減っている。来年度から様子が変わってくると思われるので、積極的に連携していきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○	集団活動が難しい利用児童が多いので、小集団活動からゆっくり支援を行っている。機会が合い目的が一致すれば交流を検討したい。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		○	自立支援協議会への参加は出来ていない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		保護者とは連絡ノートに児の利用の様子を記載して情報を共有している。また、送迎の際には口頭で様子をお伝えして質問や疑問があれば適宜対応している。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	児童のことで相談を受けることはあるが、現状ペアレントトレーニングは行っていない。ご要望があれば検討したい。
30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			

	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			ご要望があった際に、面談等の対応を行った。4月からはいつでも保護者等と面談が行えるように人員を配置する取り組みを考えている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	コロナ感染が懸念される中での父母会等の開催はリスクがあるので、保護者同士の連携の支援は現状行っていない。コロナ禍が落ち着けば、開催に向けて取り組んでいく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			相談対応、苦情申し立て対応等、保護者等から申し入れがあった際には迅速に対応が出来るように整備している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			『BASIC通信』を年度に4回の発行を予定している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			重要な書類に関しては、鍵のかかる書棚に保管している。持ち出しも原則禁止している。パソコンのセキュリティについては、ウイルス対策を行っていたが、4月からより強力な情報漏洩対策を行う。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			児童に関しては、スケジュールカードの利用や環境調整行い、理解しやすいように配慮している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			新しく建築した際、地域の方向けの見学・説明を行った。同建物内には避難場所があり、出入りが可能で開かれている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			マニュアルについては、作成したものを正面入り口横に設置して、だれでも閲覧が出来るようにした。防犯対策の訓練等は出来ていないので、実施を検討したい。保護者アンケートより、保護者への周知・説明に関して至らない部分があるので、再度上記の内容に関してBASIC通信で周知できるように取り組む。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			避難訓練は年度につき4回行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			市の虐待防止研修に参加したり、内部研修で虐待防止研修を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束防止委員会の開催や、『行動制限に関する説明・同意書』を児ごとに作成し同意を頂いたりといった取り組みを行っている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	食物アレルギーについては、保護者から情報共有を受けているが、医師からの指示書に基づく対応は行っているケースがない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			